



体育部活動 3年生が引退

今月で3年生の部活動が終了しました。中体連の中止を聞いた時、生徒も先生も残念な思いの表情でした。しかし、各連盟・専門委員会のご協力で大会が開催され、出場することができました。その様子は、勝ち負けよりも試合ができた喜びと達成感に満ち溢れていました。この状況下でご協力・ご支援いただいた保護者・関係者の皆様、ありがとうございます。

各部長に3年間の思い出を書いてもらいました。ご覧ください。



女子バトミントン部部长

私たちは最初まとまりがなかったのですが、練習を重ねることで団結力が高まり、良い成績を残すことができました。中体連ができなくて悔しいですが、部活を通して選手としてだけでなく、人間としても成長できたと思います。今まで支えてくださった先生方、本当にありがとうございます。

男子バレーボール部部长

僕たちは最初、試合形式の練習ができるほど、きれいにボールはつながらず、きれいにボールも落とさず、きれいにつなぐこともできませんでした。何より、僕はチームを引っ張っていくことができず、とても成長することができませんでした。今まで指導してくださった先生方、ありがとうございます。

女子バスケットボール部部长

私は約2年間、女子バスケットボール部部长をさせていただきました。沢山の支え、そして信頼関係を築くことができました。この成長を高校、そして大人になっても活かしていきたいです。



女子バレーボール部部长

コロナウイルスの影響で交流戦という形になりましたが、最後に試合ができて良かったです。キャプテンとして、とても貴重な体験ができました。三年間支えてくれた先生方、チームのみんなには感謝の気持ちでいっぱいです。



野球部部长

コロナの関係で中体連はなくなりましたが、大会が行われました。他の部活は市内大会の所もありましたが、僕たちは全道大会まで出場することができ、夏休みまで続けることができました。関係者・顧問の先生・保護者のお陰で、長く野球ができたことを感謝しています。

男子バスケットボール部部长

三年間、私はバスケットボール部に所属しました。最後の試合、目標の壁を越える事はできませんでしたが、最後の試合は全員が一つになつて、チームとして試合に臨めました。自分の実力が足りず負けてしまいました。みんなに悲しい思いをさせてしまいました。来年は一・二年生に自分達が目標としていたことを達成してほしいと思います。三年間、向中バスケットボール部で活動できて本当に良かったです。

男子バドミントン部部长

今まで支えてくださった皆さんありがとうございます。私たちは二年半の間、大きいタイトルを獲得することはできませんでしたが、少年団での経験者が少ない中で、男子バドミントン部は最後まで全力で戦い続けたと思います。この経験の中で、精神的にも成長することができたと思います。部活動で得たものを今後も生かしていきたいです。

9月の行事予定

日	曜	行 事	給食	部活
1	火		○	○
2	水		○	○
3	木	各委員会(前期反省)	○	○
4	金		○	○
5	土		—	○
6	日		—	○
7	月		○	○
8	火	心臓検診(1年生) 生徒会役員選挙応援演説~9/10	○	○
9	水	研修日・教科部会・分掌部会	○	×
10	木	学力テスト(3年生) 耳鼻科検診(1年生)	○	○
11	金	生徒会役員選挙 教育実習I期終了 SC来校	○	○
12	土		—	○
13	日		—	○
14	月		○	○
15	火	学年部会	○	×
16	水		○	○
17	木		○	○
18	金	教育実習II期終了	○	○
19	土		—	○
20	日		—	○
21	月	敬老の日	—	○
22	火	秋分の日	—	×
23	水	職員会議	○	×
24	木		○	○
25	金		○	○
26	土		—	○
27	日		—	○
28	月		○	○
29	火		○	○
30	水	校外学習・修学旅行	×	×

教育実習生の紹介

僕は北海道教育大学旭川校から教育実習生として来ました。

僕は「家庭科の教員」を目指しています。旭川では一人暮らしをしています。旭川では一人暮らしをしているので、家庭科は僕の生活を支えてくれているとても重要で素敵な教科です。今回はなぜ僕が家庭科を志したのか紹介していこうと思います。

僕の名前は小さい時から初めての場所での会う人に「女子みたいな名前だね。」とよく言われてきました。また小学生から続けているバドミントンも小学生の頃はよく「女子がやるスポーツ」と言われてきました。

今まで自分自身や自分が好きになつたものに世間の偏つたイメージがあり、嫌な思いをしたことがあります。皆さんが今授業で受けている家庭科も同じように「女性の先生が行う授業・教科」というイメージがあると思います。僕はそのイメージを変えていきたいと思っています。

僕自身が家庭科の先生になると、男子も女子も分け隔てなく「家庭科」を楽しんでいけるのではないかと考えています。「名前」「バドミントン」「家庭科」には通じ合う部分もあり親近感を感じています。今では名前に誇りを持っています。すし、バドミントン、家庭科も大好きで僕にとって大切な心の支えです。

これからは男女が平等に活躍していける時代です。やりたいこと・頑張りたいたいことに「自分なんて無理。」と目を背けず、一生懸命自分と向き合つて挑戦していただく。

みなさんの努力は必ず報われます。もしかすると今から勉強やスポーツで「天才」になることは難しいかもしれませんが、「努力の天才」には全員がなれると思います。だから今を大切に自分の目標・夢に向かって精一杯努力していきたいようにしましょう。僕も頑張りますので、みんなで一緒に素敵な未来をつくっていきましょう。

あと一ヶ月で後期

前期の活動も残り一ヶ月となりました。コロナによる空白期間があり、私たちもリズムが戻っていない感じがします。

前期の最後には、生徒が待ち望んでいた旅行行事があります。感染予防には十分に備え、充実した旅行にしていきたいと考えています。ご理解とご協力をお願いいたします。

さて、前期の締めくくり、そして新たなスタートへと準備の一ヶ月となることを期待しています。